

リハビリテーション学科

【科目名】 知覚・認知心理学		【担当教員】 宮岡 里美	
【授業区分】 専門基礎分野(リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0490-0-3	(メールアドレス)	
【開講時期】 前期	【選択必修】 選択	miyaoka@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】 1	【コマ数】 15 コマ	(オフィスアワー) 月～金12:40-13:30,他研究室在室時	
【注意事項】			
(受講者に関わる情報・履修条件)			
<p>本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。医療及び地域保健機関で言語・高次脳機能障害や精神機能障害等のリハビリテーションに従事してきた経験から、人の感覚・知覚及び認知・思考の機序とその障害について講じていきます。</p> <p>本科目は公認心理師国家試験出題基準における指定科目です。また、認定心理士資格取得のための必須科目です。</p> <p>「認知心理学」には、感覚・知覚・判断・記憶・言語理解等のさまざまな要素が包括されています。リハビリテーション領域におけるこれらの機能が障害された方々に対する支援するための基礎知識となります。</p>			
(受講のルールに関わる情報・予備知識)			
<p>この科目では10分以上の遅れで「遅刻」となります。申し出のない途中退室は欠席と見なします。</p> <p>他者に迷惑となる行為が認められた場合は、講義室から退出していただきます。</p> <p>レポート、試験結果、及び授業中に実施した心理テスト等のデータは、支障のない限り返却します。</p> <p>資料は全受講生に配付します。欠席した場合には、後日担当者から受け取り、必ず参照しておいて下さい。</p> <p>授業中に、随時、テーマと関連した実験演習及び視聴覚教材の視聴を実施していきます。</p>			
【講義概要】			
(目的)			
<p>人の感覚・知覚等の機序及びその障害と、人の認知・思考等の機序及びその障害について学びます。</p> <p>人間の認知情報処理過程(感覚・知覚・認知、注意、記憶、思考など)について、そのメカニズムを神経生理学及び行動科学の側面から概説していきます。また、その障害についても説明し、視聴覚教材を用いて実例から学び、その支援法を考えていきます。</p> <p>当該科目と学位授与方針との関連性; A-3, P-2, O-3, S-2, R-1</p>			
(方法)			
<p>講義と演習ですすめていく。</p> <p>障害については、講義のみでなく、視聴覚教材を用いていく。</p> <p>可能な限り、行動科学のみでなく、神経生理学的視点からの知見を根拠に説明していく。</p> <p>毎回、資料としてプリントを配布する。</p>			
【一般教育目標(GI0)】			
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なデモンストレーションを通して、人間の認知的特性を体系的、体験的に学ぶ。 ・認知の障害について理解する。 			
【行動目標(SB0)】			
<ul style="list-style-type: none"> ・人間の認知情報処理過程についての基本的知識を習得する。 ・各講義で説明した認知心理学のトピックについて多角的に考察することができる。 ・ST国家試験過去問に対応できるだけの知識を身につける。 ・認知の障害に対して、認知心理学の視点から考察し、適切な支援につなげることができる。 			
【教科書・リザーブドブック】			
<p>大山正編著 『実験心理学』(コンパクト新心理学ライブラリー16) サイエンス社 1,850円+税</p>			
【参考書】			
<p>森 敏昭・井上 毅・松井孝雄 『グラフィック認知心理学』 サイエンス社 2400円+税</p> <p>行場次朗・箱田裕司編 『知性と感性の心理学:認知心理学入門』 福村出版 2700円+税</p> <p>井上毅・佐藤浩一編 『日常認知の心理学』 北大路書房 3400円+税</p>			
【評価に関わる情報】			
(評価の基準・方法)			
<p>成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。</p>			

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		70				30			100
評価指標	取り込む力・知識	40							40
	思考・推論・創造の力	20				10			30
	コラボレーションとリーダーシップ	10				20			30
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1.2	感覚 感覚の種類、感覚の範囲と感度 視覚・聴覚・体性感覚・嗅覚・味覚	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
3.4	感覚 感覚の物理量と心理量(心理物理学) 感覚の順応・対比・加重 多感覚の統合	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
5.6	知覚・認知 色彩知覚、奥行き知覚、図と地	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
7.8	知覚・認知 運動の知覚、知覚の恒常性、運動の協応	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
9.10	知覚・認知 認知地図、対人認知、感覚遮断	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
11.12	感覚・知覚・認知の障害とその支援 失認 知覚の可塑性	講義 一部演習	復習(要点の整理)	15
13.14	知覚・認知 注意、認知の枠組み 注意障害とその支援	講義 一部演習	復習(要点の整理)	30
15	まとめ 国試過去問にみる「感覚・知覚・認知」	講義	第1～14回目までの知識の整理	15